

令和2年3月1日発行

倉吉市議会だより



12月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。



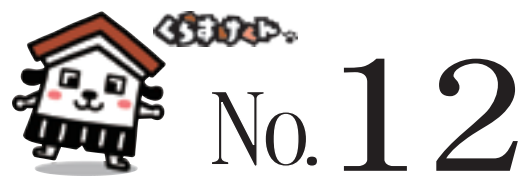
今号の内容

市政に対する一般質問	2	7
議案に対する質疑	8	9
常任委員会・視察報告	10	11
議案等の議決結果	12	13
1月臨時会(議案等の議決結果)	13	
市民の声・3月定例会・編集後記	14	



鳥取県中部森林組合より、^{エスジェック}SGEC認証材(適切な森林経営や持続可能な森林経営を行っている森林から産出された木材)を使用したベンチ4台が市役所第2庁舎に寄贈されました。ベンチは第2庁舎前などに設置され、バスの待合などに活用されます。

倉吉市議会だより「白壁」では、表紙写真を募集しています。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。





【市政に対する一般質問】

【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。

倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

会派名	議員名	発言通告要旨
くらしよし	福谷 直美	○ メガソーラーパーク倉吉ゴルフ倶楽部太陽光発電所建設工事について
		ふるさと納税の現状と課題について
		○ 第2庁舎におくやみ窓口設置について
		国の介護予防交付金倍増で市の考え方について
		子どもの通学路の安全対策の青パトの活用について
	県立美術館の進捗について	
	大月 悦子	地方創生に向けたSDGs(持続可能な開発目標)の理念に基づく計画について
		○ 避難施設の開設について
	丸田 克孝	「とっとり防災フェスタ」と「倉吉市総合防災訓練」について
		○ 自動車運転免許証の自主返納について
		○ 「ストリートピアノ」の設置について
	藤井 隆弘	○ 学校再編について
		くらしよし倉吉のシティプロモーションについて
	大津 昌克	財政健全化と令和2年度予算編成方針について
		○ 市民参画と協働のまちづくり、特に自治公民館との連携、支援体制について
空き家対策について		
スポーツ施設の利用料について		
○ 小学校における人権教育と性教育の現状と対応について		
新政会	竺原 晶子	増え続ける「不登校」の現状と対応について
		メディアとの正しい付き合い方の現状と対応について
		○ 指定障害福祉サービス事業者実地指導の現状と対応について
	国や県との共催事業に対する市としての協力のあり方について	
	坂井 徹	○ 市長のまちづくりに対する先見性とリーダーシップについて
福井 康夫	令和2年度当初予算編成方針について	
	○ 県立美術館建設推進について	
		高齢者福祉政策について

会派名	議員名	発言通告要旨
公明党・グリーン共同	鳥羽 昌明	○ 台風15号・19号を教訓とした今後の本市の防災の取組みについて
		買い物弱者対策支援について
		市役所第2庁舎内へのキッズコーナー設置について
	山口 博敬	ゴミ対策について
		免許証返納について
		マイナンバーカードについて
		○ 農林振興について
	鳥飼 幹男	○ 防災について
		○ 民法改正に伴う市営住宅の保証人制度について
		公有財産の管理について
		市民サービスの向上について
くらしよし創生	佐々木 敬敏	○ 農業振興について
		地域支援策について
	米田 勝彦	福祉避難所について
		○ グラウンドゴルフ場について
		○ 市役所の観光資源化について
		倉吉が目指す目標について
日本共産党	佐藤 博英	小中学校エアコン、不登校問題について
		難聴者への補助について
		保育の無償化について
		○ 高校通学費補助について
		○ 小規模水道への補助について
		教職員の多忙化について
		国保について
倉吉西保育園について		

一般質問通告一覧表より

【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載しています。



○印のついた質問について次頁以降に記載しています。



市政の課題を洗い出し、 解決策を探る

令和元年12月第5回倉吉市議会定例会が、令和元年12月2日(月)から12月18日(水)まで開催され、一般会計補正予算などが審議されました。会議録(質問、答弁など)は、市立図書館でご覧になれます。市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

※議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。掲載は、質問順です(頁ごと、上から)。



ふくたに なおみ
福谷 直美
Fukutani Naomi

■メガソーラーパーク倉吉ゴルフ倶楽部太陽光発電所建設工事について

■第2庁舎におくやみ窓口設置について

問 雨量の想定をした安全対策などは

答 開発協定書の中で災害防止についても規定している。県とも連携し状況確認を行っている。今後も立ち入り調査をしながら指導していきたい。

問 第2庁舎におくやみ窓口を設置してサービス向上を図っては

答 手続きが多いので、スムーズにできるよう配慮が必要だと思う。第2庁舎には窓口的な課を集約し、総合案内も設置する。効率よく市民サービスができるように検討していきたい。

おおつき えつこ
大月 悦子
Otsuki Etsuko

■地方創生に向けたSDGs(持続可能な開発目標)の理念に基づく計画について

問 「誰一人置き去りにしないために」というESD(エスディー)の理念に基づく国土強靱化地域計画のソフト対策は

答 全ての人、特に災害弱者を守ることを前提にしっかりと対応し、ユニバーサルデザインという考えを持ちながら「誰一人置き去りにしないために」という視点で計画を検討する。

問 第12次倉吉市総合計画、第2期倉吉市総合戦略の策定方針は

答 弱い立場の方の目線で作っていくべき。秋に実施する市民アンケートと、ワークショップの手法を取り入れた市民対話集会を行い、意見を聞き、現状と課題を把握したい。



■避難施設の開設について ■「ストリートピアノ」の設置について

問 ペット同行が可能な避難所は開設できないか

答 地域防災計画では、原則、避難所内へのペットの同行を認めていない。屋外飼育場所確保、仮設収容施設の整備、ボランティアによる飼育などに対応するようにしている。しかし、ペットの同行の希望に添えるよう見直しが必要と考えている。

問 倉吉未来中心にストリートピアノを設置しては

答 施設の管理者である県からは、設置には十分な検討が必要との回答があった。管理や利用方法、ほかの利用者への配慮など県や倉吉未来中心とも協議したい。



まるた かつたか
丸田 克孝
Maruta Katsutaka



■学校再編について

問 今後どのように取り組んでいくのか

答 今後については、粘り強く取り組んでいく。今の段階としては、なるべく近いうちに学校ごとに複数の修正案が出せるようにしたいと考えている。

問 市長の学校再編への考えを伺う

答 児童生徒数の減少は避けて通れない。積極的に関わり、コミュニケーションの問題としても検討する。教育委員会と連携し、適正な時期に判断しなければならないと思う。



ふじい たかひろ
藤井 隆弘
Fujii Takahiro



■市民参画と協働のまちづくり、特に自治公民館との連携、支援体制について

問 近年、自治公民館への加入率が低下しているが、未加入者対策をどう考えているのか

答 自治公民館未加入というのは、行政にとつても、本人にとつてもマイナス要素だと思う。なんとか加入にこぎつける努力をしていかなければならないが、倉吉市自治公民館連合会と意見交換してもなかなか策が見つからない。ほかの自治体の状況も勉強しながら、効果的な方策を引き続き検討していきたい。



おおつ まさかつ
大津 昌克
Otsu Masakatsu



■ 小学校における人権教育と性教育の現状と対応について
 ■ 指定障害福祉サービス事業者実地指導の現状と対応について

問 子どもの権利条約をカリキュラムに反映できないか

答 子ども自身に権利の主体があるという扱い方については研究していきたい。

問 県内高校では「デートDV予防学習」が実施されているが、中学校での実施は

答 取り組み方など現状と合わせながら考えていきたい。

問 指定障害福祉サービス事業者とのトラブル対応は

答 指導の権限は市にもあるもので、相談いただければ県と一緒に指導にあたっていきたい。

新

じくはら しょうこ
 竺原 晶子
 Jikuhara Shoko



■ 市長のまちづくりに対する先見性とリーダーシップについて

問 円形劇場一帯の再開発プランを示すべきでは

答 中心市街地活性化基本計画に沿って、住民や関係者を含めて検討する。できれば民間のアイデアが出てくることを期待したい。

問 エスマート跡地の利活用方向は

答 事業者は、現時点では具体的なアイデアはないとのこと。関係者とは今後も話をしていきたい。

問 人権文化センター移転の可能性は

答 まちづくりとは別の観点から、人権文化センターという公共施設のあり方について整理していきたい。

新

さかい とおる
 坂井 徹
 Sakai Toru



■ 県立美術館建設推進について

問 県立美術館建設の今後のスケジュールは

答 設計期間が令和2年度～3年度、建設期間が令和3年度～5年度で、令和6年度中にオープン予定。

問 県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会の取り組みは

答 交通アクセス部会、応援部会など各部会が活動中。ルートの案内看板などの位置決定もしていきたい。

問 大御堂廃寺跡の保存活用について

答 南門があると考えられる指定地外の調査の可能性を住民説明会で説明した。次世代につなげる保存活用を計画している。

新

ふくい やすお
 福井 康夫
 Fukui Yasuo



■台風15号・19号を教訓とした今後の本市の防災の取組みについて

問 台風19号では、自宅外での被災、特に車で移動中の犠牲者が多かった。「まるごとまちごとハザードマップ」の推進を

答 非常に有効なものになるだろうと思うので、ぜひ取り組みをしていきたい。これは、町中なかに浸水の深さや避難所などの情報を表示するなど、ハザードマップをある意味「見える化」するもので、住民への水害に対する危機意識の醸成、避難所などの認知度向上を図るなど、ハザードマップの周知徹底の一つの手段として有効だと考えている。

公

とば まさあき
鳥羽 昌明
Toba Masaaki



■農林振興について ■防災について

問 県産材を使った学校・福祉施設でのキノコ類の生産は

答 原木キノコ栽培を学校や福祉施設で体験することは、森や木に親しむ第一歩として有意義な取り組みである。中部森林組合の活動に協力しながら取り組みが広がるよう努力したい。

問 災害に備えた家庭用発電機・蓄電機の整備助成についてどう考えるか

答 台風15号による大規模停電のような事態に備えて、家庭で発電機や蓄電機を整備することは有効であると思うが、購入に対する助成は考えていない。自助の範囲で対応していただければ。

公

やまくち ひろたか
山口 博敬
Yamaguchi Hiroataka



■民法改正に伴う市営住宅の保証人制度について

問 市営住宅の入居に際し、保証人確保が困難になっている。今後の保証人制度のあり方を問う

答 公営住宅は、低額所得者への住宅供給という目的を踏まえると、保証人を確保できないために入居ができないといった事態が生じないようにすべき。保証人を入居の要件とすることは維持するが、保証人の免除規定も考える。リスク対応については、入居者と事前に取り決めを行い、個々の事例に即して考える。今後、民間と行政、福祉と住宅との連携で、必要な支援体制を構築していきたい。

公

とりかい みきお
鳥飼 幹男
Torikai Mikio



■農業振興について

問 農業次世代人材投資事業の予算が減額された。本市への影響と現状について問う

答 農業次世代人材投資事業には、準備型と経営開始型がある。今年度から支給対象年齢を45歳未満から50歳未満に引き上げたことで対象者が増加し、更に対前年で20億円超の国の予算が減額となったことから、交付対象者に交付決定できない自治体もあったが、本市を含め県内への影響はなかった。今後影響が出るようなら国に対し要望する。

さ さ き たかとし
佐々木 敬敏
Sasaki Takatoshi



創

■グラウンドゴルフ場について ■市役所の観光資源化について

問 市営のグラウンドゴルフ場を整備する考えは

答 整備は考えていない。市内に全ての競技の施設をそろえることは難しい。中部地区全体で見ても、適切な会場を利用してほしい。

問 市庁舎はドコモモジヤパン*から、継承・保全すべき建物に選ばれた。観光にどう活用するか

答 選んでいただき光栄に思っている。令和2年1月からの新設観光コースの一つに市庁舎も入る。ドコモモジヤパンに選定されたことなど紹介することになっている。

よねだ かつひこ
米田 勝彦
Yoneda Katsuhiko



創

*ドコモモジヤパン(DOCOMOMO

Japan) …近代建築の記録や保存活動を行っている国際学術組織「DOCOMOMO」日本支部

■高校通学費補助について ■小規模水道への補助について

問 高校生の通学費補助に市はどう取り組むのか

答 月7千円を超える交通費については、県と市町村とで半分ずつ補助するよう当初予算に反映させたい。ただし、対象となる高校を全県にするか中部にとどめるかは今後検討する。

問 水道組合や未把握の井戸へもつと支援を

答 小規模水道施設、公設用水施設など17か所は、環境課と水道局とで必要な支援を行っている。小規模水道施設に限らず、井戸も含めた飲料水供給施設の実態把握をしたい。飲料水供給施設整備事業補助金の補助率(現在3分の1)の引き上げについては今後の課題としたい。

さと う ひろひで
佐藤 博英
Sato Hirohide



日





【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。

※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。



議員名	通告	担当部局
藤井 隆弘	RO1一般補正 人件費	総務部
	RO1一般補正 個人番号カード利用環境整備事業	総務部
福井 康夫	国保条例 倉吉市国民健康保険条例の一部改正について	健康福祉部
佐々木 敬敏	RO1一般補正 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	企画産業部
	公民館指定 倉吉市公民館の指定管理者の指定について	教育委員会
米田 勝彦	RO1一般補正 災害対策	総務部
大津 昌克	RO1一般補正 第3表 債務負担行為補正(市営温水プール指定管理料について)	教育委員会
	国保条例 倉吉市国民健康保険条例の一部改正について	健康福祉部
佐藤 博英	企業立地 倉吉市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	企画産業部
大月 悦子	RO1一般補正 災害対策	総務部
	RO1一般補正 個人番号カード利用環境整備事業	総務部
笠原 晶子	RO1一般補正 個人番号カード利用環境整備事業	総務部
坂井 徹	RO1一般補正 【歳入】固定資産税	総務部
鳥羽 昌明	専決処分 議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)	教育委員会
山口 博敬	RO1一般補正 個人番号カード利用環境整備事業	総務部
	RO1一般補正 一般道路新設改良	建設部

<p>専決処分 報告第7号 議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)</p>	<p>企業立地 議案第74号 倉吉市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について</p>
<p>RO1一般補正 議案第66号 令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第4号)</p>	<p>公民館指定 議案第79号 倉吉市公民館の指定管理者の指定について</p>
<p>国保条例 議案第73号 倉吉市国民健康保険条例の一部改正について</p>	

主な質疑・答弁

議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)

損害賠償額 4万9830円

職員が市有地の草刈り作業中に、草刈り機により飛び跳ねた石により、付近に駐車中の車両に損害を与えた

Q 草刈り作業中の飛び石事故が8月、9月と連続して発生。前回の事故後、どのような対策をとったのか。何が原因と考えるか。

A 自走式草刈り機の刃を地面に近づけすぎない、安全カバーの高さ調整や取り替えなどの対策を実施。防護ネットの使用も検討したが、ネットを持ち歩く2人の人件費が必要。再発防止の注意喚起や対応策を行ったが、管理人の交代もあり、徹底が不十分だったと思われる。今後は、道路や駐車場近辺の草刈り作業を行わないようにしたり、実施時は駐車場に車を入れない、飛散しそうな石や缶の点検をする。また、監視人をつけること

や、委託も含めて検討したい。

個人番号カード利用環境整備事業

当初予算額	0万円
補正額	95万円

令和2年度に予定されているマイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施に備え、そのための環境整備を行う

Q 事業の概要は

A マイナンバーカードの普及と、マイナンバーポイントを使用できるようにするためのマイキーID取得のための周辺機器の整備、広報用のリーフレット作成を行う。

Q マイナンバーカードの交付状況とリーフレットの作成部数は

A 交付状況は現状で11%。健康保険証として利用できる令和3年にはほぼ持っていたと考える。リーフレットは2万部作成し、全戸配布する。

Q カードリーダーの設置場所は。啓発方法は

A 設置は市役所市民課や関金支所。各地区などでメリットなどを説明し、普及に努めたい。



専決処分とは、議会の議決または決定すべき案件について、法定事由に該当する場合や議会の議決により委任された場合に、市長が議会に代わってこれを処分すること。法定事由とは、必要な時機までに議決または決定を得るための議会を招集する時間的余裕がないときなど。



【質疑とは？】

市長から提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能になるよう、疑問や不明確な点を問う発言をいいます。自己の意見を述べることはできません。倉吉市議会では質疑回数は1議題5回までとなっています。

Q 市民への波及効果は。事業内容のわかりやすい説明を

A マイナンバーカードの普及およびマイナポイントと各種ポイントをひも付けすることで、消費活性化効果も期待できる。今後一層わかりやすい説明に努めていく。

災害対策

当初予算額	2964万円
補正額	118万円

令和元年中に発生した台風で被災した他の自治体を支援する

Q 支援先自治体の決め方は

A 台風15号の被害を受けた千葉県館山市とは災害時相互応援協定を締結しており、倉吉市から支援を打診し、ブルーシートなどの物資を送った。台風19号の被害を受けた長野県飯山市は、総務省の被災市町村応援職員確保システムで鳥取県が支援するようになったっており、県内市町村に派遣要請があり、倉吉市からは6人の職員派遣を行った。

Q 派遣職員の決め方と派遣期間は

A 派遣希望者から被災家屋の被害

認定や、罹災証明発行などの業務経験者を派遣。1週間の派遣を3回、1回2人で行った。

Q 帰庁後の報告と検証は

A 派遣報告は復命書で行っている。市民への報告は行ってないが、各地区の研修会などで職員の体験談や役立つ内容を話すことはできるかもしれない。今後検討する。

債務負担行為(市営温水プール指定管理料について)

業務期間	令和2年度～6年度
限度額	2億6400万円

Q 5年前の債務負担行為限度額は

2億2500万円、差額が3900万円、年間にすると780万円の増額。何が増加したのか、内訳は。

A 正職員3人のところを5人に増やすことによる人件費150万円、施設管理費100万円、光熱水費160万円、通信広告費20万円、そのほかの経費350万円がそれぞれ増額。

Q 高齢者の健康増進対策がなくなった。高齢者の受益者負担

も指定管理料が増えるよう収入の試算をしているのか

A 現指定管理者の過去4年間の平均が1400万円の利用料収入のところ、平均1650万円の利用料収入となるよう要求した。指定管理者側は、年々利用料収入が減っていく傾向を考慮していたが、広報などに力を入れて増やす努力を求めた。

倉吉市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険運営協議会の答申を踏まえたうえで、保険料の急激な増額とならないよう所要の配慮をした保険料率の改定及び保険料賦課方式の変更を行う

Q 協議会の答申では、一人あたり

年に1万6600円の引き上げが必要とのことだが、条例改正では1万円程度の引き上げである。その根拠は

A 引き上げ額の幅が大きかったことから、抑制対策が必要と考えた。水準を1万円程度にし、不足分については基金を活用する

ことで引き上げ額を抑制する。

Q 医療費の抑制をどう行うのか

A 医療費の通知、ジェネリック医薬品の差額通知、糖尿病性腎症重症化予防事業、特定健診の未受診者への勧奨などの取り組みを進める。

Q 滞納の実態は

A 平成30年度分が約4400万円、これまでの滞納分が約7300万円と、合計で約1億1700万円。保険料に関わってくるものなので、滞納抑制には努めたい。

Q 資産割が廃止になるということ

だが、保険料の増減額は世帯によつて変わるのか

A 世帯構成や所得、固定資産税により増減額が変わる。

※議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

※予算額、補正額の1万円未満を切り捨て。





【常任委員会】

【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

教育福祉常任委員会

委員	鳥飼 幹男 委員長
	竺原 晶子 副委員長
	伊藤 正三 委員
	大月 悦子 委員
	藤井 隆弘 委員
所管	健康福祉部、教育委員会

指定管理料算出根拠などを審議

教育福祉常任委員会には議案6件が付託され、審査が行われました。

教育委員会関係では、議案第79号 倉吉市公民館の指定管理者の指定について、議案第80号 倉吉市営温水プールの指定管理者の指定についての両議案に対し、指定に至った経過、指定管理料の算出根拠などを審議しました。

保険料約1万円引き上げ

健康福祉部関係では、議案

第73号 倉吉市国民健康保険条例の一部改正についての審議を行い、倉吉市国民健康保険事業の健全化に向けて、一人あたり1万円程度を引き上げとする改定案が示されました。

現在の保険料率で国保事業の運営を行った場合、令和元年度で約1億3千万円、令和2年度には約2億2千万円の収入不足が見込まれること、また、医療の高度化や被保険者の高齢化による医療費の伸びにより、今後の本市の国保財政の悪化が予想されることから、保険料の急激な増額とならないよう配慮を行い、改定すべきとしたものです。

（委員長 鳥飼 幹男）

総務建設常任委員会

委員	福井 康夫 委員長
	鳥羽 昌明 副委員長
	大津 昌克 委員
	佐々木 敬敏 委員
	佐藤 博英 委員
所管	総務部、建設部、会計課、水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会

台風による防災対策など

総務建設常任委員会には議案13件と陳情1件が付託され、審査が行われました。

審査の結果付託された補正予算・条例案件のうち、総務部では、市民課の「個人番号カード利用環境整備事業」、防災安全課の「台風15号・19号による防災対策」が可決されました。

緊急防災事業など

建設部では、緊急防災事業として古川沢地区避難路整備工事、単独災害復旧工事とし

て市道大河内汗干線^{あせび}法面復旧工事などが可決されました。また、水道局からは倉吉市水道事業ガイドライン業務指標の報告がありました。

賛成多数で可決も、少数意見を留保

議案第81号 令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第5号)と議案第84号 特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正については、賛成多数で可決されましたが、否決すべきとした少数意見の留保がありました。ほかの11議案は審査の結果、すべて全会一致で可決されました。

陳情第14号 桜を見る会の実態解明を求める意見書提出については、委員長採決で採択となりました。

（委員長 福井 康夫）



少数意見の留保とは…委員会の表決の結果、多数を得られず取り上げられない意見について、本会議において自ら少数意見として報告する権利を保持しておくこと。



※議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

【会派名】<く>くらしよし 新 新政会 公 公明党・グリーン共同 創 くらしよし創生 日 日本共産党

企画産業常任委員会

委員	福谷 直美 委員長 丸田 克孝 副委員長 坂井 徹 委員 山口 博敬 委員 米田 勝彦 委員
所管	企画産業部、農業委員会

商品券販売期間延長へ

企画産業常任委員会には議案4件と陳情2件が付託され、審査が行われました。

議案第66号 令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第4号)のうち「プレミアム付商品券の販売状況は」との質問に対し、執行部は「非課税者の申込率が32%。申込期限を1月末まで、商品券の販売期日を2月28日までに延長し、案内する。12月中は土日も販売を行い、1月からは市役所第2庁舎での販売を行う」と答弁。

利用料金は妥当

議案第77号 エキパル倉吉及び倉吉市駐車場の指定管理者の指定についてに関して「会議室の利用料について考慮しているか」との質問に対し、執行部から「近隣施設を考慮し料金を設定。利用実績も多く、料金は妥当。多目的ホール利用者は年間9164人と多く、予約がとりづらい状況」との答弁がありました。審査の結果、付託された議案は全て可決されました。

陳情第15号 放送法における「受信設備の設置」概念の法に適合した運用についての意見書提出については、全会一致で研究留保、陳情第16号 公共放送の運営に係るコンプライアンスの徹底及び、消費者保護体制の強化を求める意見書提出については、趣旨採択となりました。

(委員長 福谷直美)



会派・個人

視察報告【令和元年11月～令和2年1月分】



期間	令和元年11月18日(月)～19日(火)	旅費総額	22,100円
視察先・目的	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所	令和元年度 第2回市町村議会議員特別セミナー	
視察者(会派)	◀ 大津昌克		1人
期間	令和2年1月16日(木)～17日(金)	旅費総額	57,130円
視察先・目的	東京都立川市 立川市役所 東京都千代田区 鳥取県東京本部 東京都千代田区 議員会館	自治会への加入・参加促進の取り組み及び立川市自治会等を応援する条例について 業務内容全般について 地元選出国会議員への要望活動	
視察者(会派)	◀ 大月悦子		1人
期間	令和2年1月16日(木)～18日(土)	旅費総額	142,280円
視察先・目的	東京都立川市 立川市役所 東京都千代田区 鳥取県東京本部 東京都千代田区 議員会館 東京都港区 鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」	自治会への加入・参加促進の取り組み及び立川市自治会等を応援する条例について 業務内容全般について 地元選出国会議員への要望活動 鳥取県(倉吉市)への定住促進及び県立ハローワークの状況について	
視察者(会派)	◀ 福谷直美、丸田克孝		2人
期間	令和2年1月27日(月)～28日(火)	旅費総額	52,000円
視察先・目的	福岡県福岡市 リファレンス駅東ビル	地方議員研究会講座「医学博士が教える認知症対策特別講座」 「我が国が直面する学校統廃合特別講座」	
視察者(会派)	◀ 藤井隆弘		1人
期間	令和2年1月28日(火)～30日(木)	旅費総額	110,380円
視察先・目的	三重県亀山市 亀山市役所 三重県名張市 名張市役所 奈良県大和郡山市 大和郡山市役所	子ども・子育て会議について、日曜窓口について 名張市ぱりぱり食育条例について、議場コンサートについて リメイク大和郡山について	
視察者(会派)	創 米田勝彦、佐々木敬敏		2人





【議案等の議決結果】

—— 一般会計補正予算など 23 議案、
陳情 3 件などを審議 ——



審議の結果

賛否が分かれた案件は、その内訳を表記しています。

議案番号	件名	賛成	反対
報告 第 7 号	議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)		報告受理
議案 第 66 号	令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第 4 号)	12	2
議案 第 67 号	令和元年度倉吉市簡易水道事業特別会計補正予算(第 1 号)		原案可決
議案 第 68 号	令和元年度倉吉市下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)		原案可決
議案 第 69 号	令和元年度倉吉市集落排水事業特別会計補正予算(第 2 号)		原案可決
議案 第 70 号	令和元年度倉吉市水道事業会計補正予算(第 3 号)		原案可決
議案 第 71 号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		原案可決
議案 第 72 号	倉吉市福祉事務所設置条例の一部改正について		原案可決
議案 第 73 号	倉吉市国民健康保険条例の一部改正について		原案可決
議案 第 74 号	倉吉市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第 10 条第 1 項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について		原案可決
議案 第 75 号	倉吉市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		原案可決
議案 第 76 号	倉吉市上水道給水条例及び倉吉市公共下水道条例の一部改正について		原案可決
議案 第 77 号	エキバル倉吉及び倉吉市駐車場の指定管理者の指定について		原案可決
議案 第 78 号	倉吉市高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について		原案可決
議案 第 79 号	倉吉市公民館の指定管理者の指定について		原案可決
議案 第 80 号	倉吉市営温水プールの指定管理者の指定について		原案可決
議案 第 81 号	令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第 5 号)	11	3
議案 第 82 号	令和元年度倉吉市下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)		原案可決
議案 第 83 号	令和元年度倉吉市水道事業会計補正予算(第 4 号)		原案可決
議案 第 84 号	特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	10	4
議案 第 85 号	倉吉市職員の給与に関する条例の一部改正について		原案可決
議案 第 86 号	倉吉市印鑑条例の一部改正について		原案可決
議案 第 87 号	監査委員の選任について	6	5
選挙 第 4 号	鳥取中部ふるさと広域連合議会議員の補欠選挙について		指名推選
選挙 第 5 号	鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙について		指名推選
議会 発議 第 6 号	「桜を見る会」真相解明を求める意見書提出について		原案可決



賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否													賛成	反対	議決結果		
		福谷直美	藤井隆弘	大津昌克	大月悦子	丸田克孝	福井康夫	伊藤正三	笠原晶子	坂井徹	鳥飼幹男	鳥羽昌明	山口博敬	米田勝彦				佐々木敬敏	佐藤博英
議案 第 66号	令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第4号)	○	○	×	○	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	12	2	原案可決
議案 第 81号	令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第5号)	○	○	×	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	×	11	3	原案可決	
議案 第 84号	特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	○	○	×	×	○	○	-	×	○	○	○	○	○	×	10	4	原案可決	
議案 第 87号	監査委員の選任について	○	○	○	○	※	※	-	×	×	×	×	○	○	※	6	5	同意	

請願・陳情の結果

番号	件名	委員長報告(付託委員会)	委員長報告に対する賛否													賛成	反対	議決結果	
			福谷直美	藤井隆弘	大津昌克	大月悦子	丸田克孝	福井康夫	伊藤正三	笠原晶子	坂井徹	鳥飼幹男	鳥羽昌明	山口博敬	米田勝彦				佐々木敬敏
陳情 第 14号	桜を見る会の実態解明を求める意見書提出について	採択(総務建設)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0	採択
陳情 第 15号	放送法における「受信設備の設置」概念の法に適合した運用についての意見書提出について	研究留保(企画産業)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	13	1	研究留保	
陳情 第 16号	公共放送の運営に係るコンプライアンスの徹底及び、消費者保護体制の強化を求める意見書提出について	趣旨採択(企画産業)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	13	1	趣旨採択	

○賛成、 ×反対、 ※退席・除斥、 -議長のため表決に加わらず

令和2年
1月
第1回
臨時会

令和2年1月第1回臨時会 議案等の議決結果

【臨時会とは？】

特定の事件に限ってこれを審議するために、臨時招集される議会のことをいいます。

審議の結果

令和2年1月第1回倉吉市議会臨時会が1月15日(水)に開催され、市道の路線の認定などについて審議されました。


議案番号	件名	議決結果
報告 第 1号	議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)	報告受理
議案 第 1号	市道の路線の認定について	原案可決





令和2年 3月
第2回 倉吉市議会定例会

【会 期】3月2日(月)～3月25日(水)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内容	
3月2日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
3日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
4日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
5日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
6日	金			予 備 日	
7日	土			休 会	
8日	日			休 会	
9日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑	
10日	火	本会議	午後1時	付議議案に対する質疑 ～委員会付託	
11日	水			予 備 日	
12日	木	委員会		総務建設常任委員会(予定)	
13日	金	委員会		総務建設常任委員会(予定)	
14日	土			休 会	
15日	日			休 会	
16日	月	委員会		企画産業常任委員会(予定)	
17日	火	委員会		企画産業常任委員会(予定)	
18日	水	委員会		教育福祉常任委員会(予定)	
19日	木	委員会		教育福祉常任委員会(予定)	
20日	金			休 会	
21日	土			休 会	
22日	日			休 会	
23日	月			予 備 日	
24日	火			議事整理日	
25日	水	本会議	午前10時	委員長報告 ～付議議案の討論・採決	

 …ケーブルテレビ放送あり  …手話通訳あり
※常任委員会は録画放送のみ。
録画放送は開催日の午後7時から。

※倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。最新の会議情報、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録検索システムなどを掲載しています。

倉吉市議会 検索



編集後記

4年ぶりの再刊となった倉吉市議会だより「白壁」も12号となりました。再刊にあたり「倉吉らしいネーミングを」と倉吉を代表する町並みから名前をつけたものです。▼発行を重ねるごとに内容も充実し、このたび月刊「地方議会人」(株)中央文化社で「住民の意見や提案を起点とした情報の共有がある記事」と評価されました。▼鳥取県中部地震の翌年に再刊した「白壁」。倉吉でも、人口減少・高齢化が進行中です。一方、フィギュアミュージアムや打吹回廊がオープンし、令和6年度の鳥取県立美術館開館に向けて動く新しい息吹を感じています。▼1月からは市役所第2庁舎が開庁し、4月からは本庁舎・北庁舎も新体制となります。議会にとっては一つの危機だとひそかに思っています。市民に直結した部門が第2庁舎に移り、議会棟のある本庁舎への市民の流れが遠のくのではないかと危惧しています。▼皆様に議会への関心を持っていただき、市民とのコミュニケーションの役割を担う議会だよりの作成に、これまで以上に努めますので今後ともよろしく願います。(編集委員 藤井 隆弘)



株式会社グッドスマイルカンパニー
楽月工場(ラッキーファクトリー)

ペティ・ミカエル さん
(フランス出身)

楽しいまち倉吉を発信しましょう

「フィギュア工場で働きたい」から倉吉に

鳥取県でホームステイを経験し、ステイ先の友人に倉吉観光に連れて行ってもらったことがきっかけで、初めて倉吉にきました。当時、赤瓦1号館に(株)グッドスマイルカンパニーの出張ショップがあり、大好きなフィギュアの工場が倉吉にあることを知り、ぜひ働きたいと思い応募しました。現在は、^{らくつき}楽月工場で海外との取引業務や海外の技術指導、研究、開発の場面で通訳者・翻訳者として働いています。

ここは、いろいろな体験ができるまち

倉吉は穏やかなまちでありながら、活発な面も持ち合わせています。ボルダリング施設をはじめ、陸上競技場、射撃場、プールなど、スポーツが好きな人にとっては、とても良いところです。イベントも多く、打吹まつり、ものづくり体験、スポーツ体験、ひなビタ♪関連の祭りなど、私も多くのイベントに参加しました。また、打吹公園の春と秋の美しさは、何度見ても感動します。白壁土蔵群の風情ある町並みも大好きです。最近はいろいろなイベントで盛り上がってきていますが、閉店しているお店もあり、少し寂しく思っています。

倉吉に県立美術館が完成してフィギュアミュージアムと連携した面白い展示を行うことができれば、もっともっと倉吉は楽しいまちになりそうですね。

個人的に難を言えば、「まんが王国」といわれている鳥取県なのに、漫画やアニメグッズを扱う専門店が中部にはないのが不思議に感じます(米子か隣県に行かなければなりません)。

活発な動きで外から人を呼び込む

倉吉を楽しいまちにするために、市や市議会、たくさんの方がもっと活発に動くといいですね。また、外から人が訪れるイベントを増やして、その宣伝に力を入れてほしいです。

【議会だより編集委員】

佐藤 博英委員長、竺原 晶子副委員長
鳥羽 昌明委員、藤井 隆弘委員、米田 勝彦委員

発行：倉吉市議会 / 編集：議会だより編集委員会

〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722 TEL.(0858)22-8145 FAX.(0858)22-8146